

今号の内容

- ・エイジの沖縄通信 ②
- ・辺野古基金1億4千万円に！ ③
- ・これでは「戦前談話」だ！ ⑤
- ・もんじゅを廃炉へ 全国集会 ③
- ・高浜と川内 ⑤
- ・二つの仮処分決定 ④
- ・「希望の同盟」の行き先 ⑥
- ・何でも紹介 ⑦
- ・アイヌ史概説を読み直す ⑧
- ・錬金術師Ⅱ日銀リフレ派の実態 ⑨
- ・もしマルクスが ⑩
- ・ピケティを読んだら(2) ⑪
- ・コラムの窓 ⑪
- ・子どもの貧困から見えてくるもの ⑪
- ・色鉛筆 ⑪
- ・反安倍で熱気の連休でした ⑫

ワーカーズ

http://www.workers-net.net

毎月1日・15日 発行1部150円 半年2000円(郵送)
郵便振替 00180-4-169433 (ワーカーズ社)

2015/5/15 No. 536

戦争法案反対！ 軍事拡大へひた走る安倍政権を倒そう！

安倍政権は、「国際平和支援法案」と自衛隊法改正など「平和安全法整備法案」を国会に提出し、それらを成り立たせようとしています。平和とは名ばかりで、日本が他国の戦闘行為へ支援しようとするもので今までの「専守防衛」の立場を大きく超えることとなります。



抗議の市民を排除する海上保安官(5月5日) 左下は中谷防衛相と会談する翁知事

焦点の集団的自衛権の行使が可能となる

「存立危機事態」への対処については、自衛隊法を改正し、3条で自衛隊の主たる任務に位置づけたうえで、防衛出動を定めた76条と武力行使を定めた88条によるものとしています。また、海外での邦人救出については自衛隊法の84条で、外国での緊急事態の際、生命や身体に危害を加えられるおそれがある邦人の保護措置を自衛隊の部隊などが実施できるようにし、任務遂行のための武器の使用を可能にするとしています。さらに、国家安全保障会議設置法を改正し、NSC(国家安全保障会議)での審議事項に、「存立危機事態」や日本の平和と安全に重要な影響を与える「重要影響事態」への対処を加えたうえで、邦人救出や国連のPKO活動の際などに可能とする「駆け付け警護」は、必ずNSCで審議しなければならぬという規定を設けています。

まさに、戦闘地域に出かけて戦争をしようとしています。これで、今までなかった自衛隊員が人を殺したり殺されたりする危険性が高まったと言えます。

辺野古基地建設反対！

沖繩の辺野古沖で、基地建設反対で座り込む市民に対して、海上保安官が暴力と強制排除する場面が多いです。以下一例です。

5月5日、海保による強制排除が確認されたのは午前7時ごろ、海上保安官が乗った車数台が通称第2ゲートから基地内に入ろうとした際、複数の市民が立ちふさがりました。車から降りた複数の保安官が「危ないですよ」などと声を掛けながら、市民らの体を持ち上げて強制的に排除したほか、体を力づくで押さえ付けてもみ合いとなりました。現場で抗議していた破名城晋さん(31)は「海保は海だけではなく陸でも危険な行為をしている。弾圧するという方針が現れてきた」と話しました。

また、5月9日中谷防衛大臣と翁長知事は、沖縄県庁で会談しましたが話は平行線に終わりました。中谷防衛大臣は、翁長知事の言うことに聞く耳を持っていません。中谷大臣が在沖米海兵隊の抑止力と普天間の危険性除去の重要性を強調して移設を求めたのに対し、翁長氏は「工事の中止を決定してほしい」と要求しましたが、中谷大臣は拒否しました。

翁長知事は会談後の記者会見で、「あらゆる手段を講じた場合、辺野古基地はできないと確信するに至っている」と移設を阻止する考えです。翁長さん、辺野古基地反対で共に闘いましょう。

沖縄基地の問題や、戦争法案など戦争への道を進もうとする安倍政権を1日も早く退陣させましょう。

普天間基地も撤去せよ！

辺野古基金1億4000万円に!

前に紹介した「辺野古基金」
のことですが、もう1億円を超
えたと言っ。凄いですね!
辺野古新基地建設阻止を目
的とした「辺野古基金」が、5
月8日時点で寄付金が
1億4138万1702円と
なった。
寄付が寄せられた5421
件のうち、約7割が県外からと
のこと。辺野古問題に関する関
心が全国的に広がっているこ
とを示している。

東京新聞(4月30日付)の
発言欄に次のような主婦の投
書があった。私と同じ思いの人
がいること、その訴え内容にと
ても感銘を受けたので紹介す
る。
「辺野古沖への新基地建設に
関して、現政府の対応・・・
強い憤りを感じています。とて
も人ごととは思えず、私なりに
自分のこととして受け止め、胸
を痛めておりました。その憤り
に対して、私にできることとい

えは、デモに参加して声を上げ
ることぐらいでした。すぐに現
地に行つて応援することは難
しく、歯がゆい思いをしており
ました。そこに現れたのが、
『辺野古基金を設立』の記事で
した。・・・これなら私にも少
し応援できるぞと、このアイデ
アに拍手を送りました。『待つ
てました!』という感じで
す。・・・辺野古の基地問題は、
決して沖縄の問題ではありま
せん。沖縄の問題は日本の問題
なのです。辺野古移設に異
議を唱える多くの国民の皆さ
ま、金額ではありません。沖縄
への気持ちを辺野古基金に送
りましょう。『おかしいことは
おかしい』『変なことは変』と
辺野古基金を通して意思表示
しましょう。』

討する予定。
なお、辺野古基金の振込先が
沖縄の金融機関ばかりで、本土
の私たちには不便でした。準備
委が本土の金融機関の振り込
み先を下記のように開設した
ので便利になりました。

★「ゆうちょ銀行」 店番号
(708) 口座番号
(1365941)
または、記号
(17000) 口座番号
(1365941)

★「みずほ銀行」 店番号
(693) 口座番号
(1855733)

9日県庁で、翁長知事と中谷
防衛相との初会談が行われた
が、琉球新報は社説で「傷が付
いて同じ音を繰り返すレコー
ドのようだ。『辺野古移設が唯
一の解決策』。菅義偉官房長
官、安倍晋三首相が相次いで会
談して翁長雄志知事に発した
せりふだ。9日、知事と会談し
た中谷元・防衛相も『どう考え
ても』と前置きして同じせりふ
を使ったと、批判した。(5
月10日付、琉球新報より)

この中谷防衛相をさらに許
せないのが、翁長知事会談前日
の8日に、名護市辺野古周辺の
(日)午後1時から、

辺野古・豊原・久志の3区(久
辺3区)の区長と秘密会談をし
ていたことだ。
この3人の区長は条件付き
移設容認派で、各区の要望につ
いて3区と国との懇談会の設
置を要求していた。今回の秘密
会談で、各区の要望を懇談会で
協議していくことを確認した
という。
名護市行政の最高責任者で
ある稲嶺市長との面談・話し合
いを拒否して、一部の行政区の
代表とだけ面談する、国の大臣
がやることではない無法ルー
ル容認である。このように安倍
政権は、地方自治の行政責任者
に対して「好きか嫌いか」「利
用できるか利用できないか」な
し(富田 英司)

那覇市の「沖縄セルラースタジ
アム」で「戦後70年止めよう
辺野古新基地建設!沖縄県民
大会」が開催される。
当初は1万人規模の県民大
会をを目指していたが、3万人
以上に上方修正した。翁長知事
も参加予定である。大会カラ
ーは辺野古・大浦湾をイメージし
た「辺野古ブルー」。当日参加
できない県民にも「青色」の装
飾品を身につける事を呼びか
けている。
全国の皆さんもこの沖縄県
民大会に連帯して、当日1時か
らそれぞれの地元で工夫を凝
らして、街頭で「青色」アピ
ールをする活動を取り組みま
しょう!



「辺野古基金」設立で記者会見する呉屋守将氏など

高浜と川内

ふたつの仮処分決定！

4月14日、福井地裁（樋口英明裁判長）が、関電高浜原発3・4号機の再稼働差し止め仮処分で、再稼働を認めないとの決定を行いました。その内容はすでに報道されていますので述べませんが、この決定が覆されない限り安倍首相や菅官房長官が「粛々と…」と叫ぼうと、関電八木社長が「電気料金値上げ…」と脅そうが、高浜原発を動かすことはできません。

引き続き4月22日、鹿児島地裁（前田郁勝裁判長）が九電川内原発1・2号機の再稼働差し止め仮処分を退ける決定を行いました。予想されたことか、司法は鹿児島地裁・前田郁勝裁判長をして原発再稼働路線堅持を再確認させたのです。たった8日で、国家権力の一翼を担う司法は「危険な」福井地裁の判断をことごとく否定し、彼らの目指す「安全圏」へと逃げ込みました。

だがしかし、これによって電力会社が原発保有という負債から逃れる道を絶ってしまいました。関電社長にして電事連会長の八木誠は、福井地裁樋口英明裁判長によって差し出された救いの手を払いのけ、原発との心中の道を選びました。あれもこれも愚かと言っほかありません。

それでも私たちは、再稼働を阻止してこのまま原発を眠らせてしまおうことを、あきらめるわけにはいかないのです。子どもたちが核のゴミに埋もれてしまい、放射能汚染におびえて暮らすような明日が来ないように、全力を尽くさなければなりません。それでは、ふたつの仮処分決定を新聞各紙はどのように報じたでしょうか。各紙社説（産経のみ「主張」）から、その見出しと内容を紹介します。（折口晴夫）

読売新聞「高浜差し止め 規制基準否定した不合理判断 合理性欠く決定と言わざるを得ない」

「原発に絶対の安全を求め、そうでなければ運転を認めないという考え方は、現実的といえるのか」「差し止めへのもうひとつの疑問

「福島第1原発の事故後、原発再稼働に関し10件の判決・決定が出たが、差し止めを認めたのは樋口裁判長が担当した2件しかない。偏った判断であり、事実に基づく公正性が欠かれない司法への信頼を損ないかねない」

「関電は、決定に対する異議などを福井地裁に申し立てる。今後、決定が取り消されることを前提に、関電は、保守点検体制の強化などを着実に進めるべきだ」

東京新聞「国民を守れ 司法判断だ 高浜原発『差し止め』」

「福井地裁の決定は、普通人が普通に感じる不安と願望をくみ取った、ごく普通の判断だ。だからこそ、意味がある」

「（政府は）原発のある不安となくなくなる不安が一度に解消された未来図を、私たちに示すべきである」

「原発に絶対の安全を求め、そうでなければ運転を認めないという考え方は、現実的といえるのか」「差し止めへのもうひとつの疑問

「福井地裁の同じ裁判長は昨年、大飯原発3、4号機運転差し止め訴訟でも再稼働を認めない判決を言い渡し、安全性の判断は『必ずしも高度の専門的な知識を要するものではない』と発言した。



再稼働を認めない決定に喜ぶ原告団と支援者

関電高浜原発3・4号再稼働に画期的な差し止め決定！

朝日新聞「高浜原発差し止め、司法の警告に耳を傾けよ」

「原発の再稼働を進める政府や電力会社への重い警告と受

け止めるべきだ」「普通の人が素朴に感じる疑問を背景に、技術的な検討を加えてうえで、『再稼働すべきでない』という結論を示した司法の判断は意味が大きい。裁判所に視線は終始、住民に寄り添っていて、説得力がある」

「原発再稼働の是非は国民生活や経済活動に大きな影響を与える。ゼロリスクを求めて一切の再稼働を認めないことは性急すぎるが、いくつもの問題を先送りしたまま、見切り発車を再稼働をすべきでないという警告は軽くない」

「異議審や高裁には、迅速で正常な審理を求めたい。同時に政府や関電はその間も、再稼働に向けた準備を進めてほしい。この決定は速やかに見直されるべきだ。それほど特異な内容である」

「現在の地震学では予測に限界があるからこそ、最悪の想定をして備えなければならない。関電にその自覚と責任感が欠けていないだろうか」「新規制

「福井地裁の同じ裁判長は昨年、大飯原発3、4号機運転差し止め訴訟でも再稼働を認めない判決を言い渡し、安全性の判断は『必ずしも高度の専門的な知識を要するものではない』と発言した。

また、原発の運転停止で多額

「原発の再稼働を進める政府や電力会社への重い警告と受

毎日新聞「高浜原発差し止め

日経新聞「福井地裁の高浜原

また、原発の運転停止で多額

(4ページ下段から続く)

の貿易赤字が出て、『これを国

富の流出というべきではない』

とし、『豊かな国土に国民が根

を下ろして生活できることが

国富である』と定義していた。

国富とは国の総資産のこと

であり、経済力のことである。

思想家や哲学者の素養まで、裁

判官には求めている。司法

が、暴走していないか」

稼働にお畢付き！

深刻な放射線漏れが起きて、周

辺住民の生活を直撃し、収束の

目途が立たない事態が続く」

毎日新聞「割れた司法判断 丁

寧な原発論議が要る」

読売新聞「川内原発仮処分 再

稼働を後押しする地裁判断」

故の発生率はゼロにならない。

ゼロリスクを求めるだけでは、

現実的な議論になっていかな

い。

政府は『新規制基準に合格し

た原発の再稼働は進める』と線

ない』と断じ、関西電力高浜原

り返しているが、それでは、国

民の理解にはつながらない。再

稼働を進めたいのであれば、脱

原発の道筋をきちんと示す必

要がある」

読売新聞「川内原発仮処分 再

稼働を後押しする地裁判断」

「今回の決定は、福井地裁によ

る14日の仮処分の特異性を

浮き彫りにした。新基準を『緩

やかに過ぎ、安全性は確保され

ない』と断じ、関西電力高浜原

産経新聞「川内差し止め却下

説得力ある理性的な判断だ」

「東京電力福島第1原発の大

事故以来、国内には原子力発電

に否定的な評価が根を張って

いる。しかし、原発に背を向け

続けるだけでよいのだろうか。

日本がエネルギー資源の貧

困である現実を忘れると問題

の解決は遠ざかる。原発の適正

活用は、日本に限らず、将来の

世界のエネルギー安全保障に

資する道でもある。鹿児島地裁

の決定を確かな第1歩とした

い」

日経新聞「地裁の原発判断が問

うもの」



再稼働差し止めは認められなかった川内原発

沈みゆく関電

福井県・若狭湾に11基の加圧水型原発（PWR）を持つ関電、栄華を極めた日々は過去のものとなりました。4年連続赤字の決算記者会見で、八木社長は「『5年連続赤字では企業として成立せず、何としても本年度は黒字化を目指す』と強調。6月実施がほぼ確定した電気料金の再値上げに加え、原発再稼働による火力燃料費の圧縮や、経営効率化などに全力を挙げる構えだ」（5月1日「神戸新聞」）

しかし、電気料金値上げは企業や自治体の電力供給契約打ち切りに拍車をかけることとなります。2012年度は61件だったのに、13年度2987件、14年度5375件と急増し、「契約電力ベースでは、累計で関電の原発2～3基分に相当する約265万キロワット分が解約された」（4月24日「神戸新聞」）

黒字化の必須条件として八木社長が望みをかける、原発再稼働はさらに遠のいています。今年11月の再稼働を想定していた高浜原発3、4号機は仮処分決定で再稼働の目途が立たなくなっています。大飯原発3、4号機も昨年5月21日の福井地裁判決で再稼働を認めない原告勝訴となっています。これら4基は1985年から93年に稼働したもので、再稼働できれば10年は利益を生み出すのにと、八木社長は歯ぎしりしていることでしょう。

他の原発はいずれも古く、美浜原発1、2号機は廃炉決定、3号機は来年12月で稼働40年を迎え、稼働延長を目指すようです。高浜原発1、2号機も40年越えて4月30日、原子力規制委員会に20年の延長申請をしました。大飯原発1、2号機は1979年稼働で、再稼働できたとしても数年で40年期限を迎えます。

運転40年制限が厳格に守られたなら、2030年に稼働している可能性があるのは大飯原発3、4号機のみです。その間に、廃炉となった原発の処理費用が関電の経営に重くのしかかるでしょう。いや、廃炉作業が順調に進むかすら不確かです。その上、過酷事故でも起ころうものなら一巻の終わりです。関西圏在住の私なども、八木社長と心中ということになってしまうのか、そんなのは真っ平です。（晴）

「規制委の基準に含まれない事故発生時の避難計画は『現時点において一応の合理性・実効性』」（6ページ上段に続く）

(5ページ下段から続く)

性を備えている』とした。

鹿児島県の試算では、原発30キロ圏内の住民が自動車で圏外へ逃れるのに30時間近くかかるというのだが。

全体的に、約20年前に、最高裁が四国電力伊方原発訴訟(設置許可取り消し)で示した『安全基準の是非は、専門家と政治判断に委ねる』という3・11以前の司法の流れに回帰した感がある。

だがそれは、もう過去のことであるはずだ」

神戸新聞「原発の差し止め 専門家任せにしたいくない」

「地裁は『巨大噴火の可能性は十分に小さい』とし、監視によつて前兆をつかめるとする九電などの主張をうのみにした。

火山学会などは反発している。火山学では噴火は予知できず、前兆をつかむことは難しい。可能性は低いが、破滅的なカルデラ噴火はいつ起きてもおかしくない。川内原発への影響は大きい、その危機感が無い。

川内の決定に事実誤認があると指摘されても仕方ないだ

るう」「自然現象や科学技術は不確実性がついて回る。特に原発は事故が起きると人や環境に大きく影響し、生きる権利を根こそぎ奪いかねない。専門家だけに任せられない問題だ」

どちらの判断を支持するか、くつきり分かれていきます。リスクがゼロになることはあり得ないことを前提に、それでも再稼働すべしという読売・産経・日経は司法判断が分かれては困るという論調で、福井地裁の判断は「特異なもの」として退けることを要求しています。樋口英明裁判長への個人攻撃が組織されつつあるのでしよう。

しかし、責任を持って誰も安全だと言わない、言うことができないのにならして再稼働が可能なのでしょうか。安倍晋三自公政権は、2030年の電源構成に占める原発比率は20〜22%だと言いだしています。原発新規建設をも視野に入れているのです。幸運にして事故が起きなかったとしても、将来世代に背負いきれない負債を押し付けることになるにも関わらずです。

（晴）

「希望の同盟」の行き先

米政府「リバランス政策」と安倍首相の野望の共演

安倍首相の四月訪米は、双方の利害の一致から彼なりの「大きな成果」を上げたに違いないでしょう。米国の世界戦略に乗る形で、安倍首相は「過去の日本」から決別する決意です。

戦後一貫して海外派兵をし、てこなかつた日本ですが、世界に雄飛することを米国議会で誓つたのでした。戦後政治史の大きな転換点となることは違いないでしょう。

日本の首相が上下両院合同会議で演説するのは初めて。「希望の同盟へ」と題し、英語で約45分間行った。

首相はワシントン市内の第2次世界大戦記念碑を訪問したことにふれ、大戦で日本軍の攻撃によつて多数の米兵が犠牲となつた真珠湾やフィリピンのバターン半島などの戦場に言及。「歴史とは実に取り返しつかない、苛烈(かれつ)なものだ。私は深い悔悟を胸に黙(もく)と(う)を捧げたい」と述べ、「日本国と、日本国民を代表し、先の戦争に斃れた米国の人々の魂に深い一礼を捧げる」と表明した。

さらに「戦後の日本は、先の大戦に対する痛切な反省を胸に、戦後の日米の和解の歩み

を強調。米国人の犠牲者に哀悼を捧げ、アジアの国民に「苦しみを与えた事実」を認めた。「侵略」や「おわび」という言葉は使わなかつた。

「希望の同盟へ」と題し、英語で約45分間行った。

首相はワシントン市内の第2次世界大戦記念碑を訪問したことにふれ、大戦で日本軍の攻撃によつて多数の米兵が犠牲となつた真珠湾やフィリピンのバターン半島などの戦場に言及。「歴史とは実に取り返しつかない、苛烈(かれつ)なものだ。私は深い悔悟を胸に黙(もく)と(う)を捧げたい」と述べ、「日本国と、日本国民を代表し、先の戦争に斃れた米国の人々の魂に深い一礼を捧げる」と表明した。

さらに「戦後の日本は、先の大戦に対する痛切な反省を胸に、戦後の日米の和解の歩み

を強調。米国人の犠牲者に哀悼を捧げ、アジアの国民に「苦しみを与えた事実」を認めた。「侵略」や「おわび」という言葉は使わなかつた。

【朝日4/30】

訪米中の安倍晋三首相は29日午前(日本時間30日未明)、ワシントンの米議会上下両院合同会議で演説した。先の大戦への「痛切な反省」に言及し、戦後の日米の和解の歩みを強調。米国人の犠牲者に哀悼を捧げ、アジアの国民に「苦しみを与えた事実」を認めた。「侵略」や「おわび」という言葉は使わなかつた。

首相はワシントン市内の第2次世界大戦記念碑を訪問したことにふれ、大戦で日本軍の攻撃によつて多数の米兵が犠牲となつた真珠湾やフィリピンのバターン半島などの戦場に言及。「歴史とは実に取り返しつかない、苛烈(かれつ)なものだ。私は深い悔悟を胸に黙(もく)と(う)を捧げたい」と述べ、「日本国と、日本国民を代表し、先の戦争に斃れた米国の人々の魂に深い一礼を捧げる」と表明した。

さらに「戦後の日本は、先の大戦に対する痛切な反省を胸に、戦後の日米の和解の歩みを強調。米国人の犠牲者に哀悼を捧げ、アジアの国民に「苦しみを与えた事実」を認めた。「侵略」や「おわび」という言葉は使わなかつた。

さらに「戦後の日本は、先の大戦に対する痛切な反省を胸に、戦後の日米の和解の歩みを強調。米国人の犠牲者に哀悼を捧げ、アジアの国民に「苦しみを与えた事実」を認めた。「侵略」や「おわび」という言葉は使わなかつた。

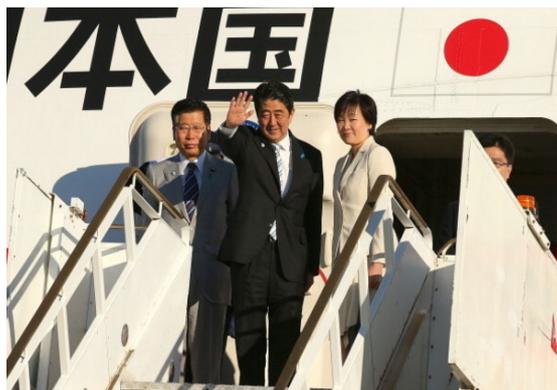
さらに「戦後の日本は、先の大戦に対する痛切な反省を胸に、戦後の日米の和解の歩みを強調。米国人の犠牲者に哀悼を捧げ、アジアの国民に「苦しみを与えた事実」を認めた。「侵略」や「おわび」という言葉は使わなかつた。

■アジアに「謝罪」をしない 安倍首相

一部の消息筋の予想通り、安倍首相は、「侵略」や「慰安婦」とそれに対する「謝罪」を無視した。おそらく彼の

一部の消息筋の予想通り、安倍首相は、「侵略」や「慰安婦」とそれに対する「謝罪」を無視した。おそらく彼の

一部の消息筋の予想通り、安倍首相は、「侵略」や「慰安婦」とそれに対する「謝罪」を無視した。おそらく彼の



米国の傘を利用して野望を膨らませる安倍首相

クツでは「痛切な反省 deep remorse」(村山談話)はすでに謝罪の意味が含まれていると。

(英語訳の内容としては。)しかし、仮にこの理屈が通じたとしても、それは欧米人だけで

中国人、韓国人などの当事者、そして日本人には通じない。「謝罪」は外されたのだ。そして、それは実は言語の問題ではなく、「アジア特に中韓には謝罪はしない」という強烈な意思表示だろうと思います。結論的に言えば、日米同盟の強化に前のめりになっているオバマや米国議会が、これ以上この問題で、安倍首相をとちめるようなことはしないで

(7ページ中段に続く)

『アイヌ史／概説』

河野本道 著 北方新書2 1311円

●「アイヌ史」のテキストとして

『アイヌ史／概説』は「序」にかえて「にもあるように、一九九四年六月から翌年三月にかけて『ヤイユーカーラの森』（事務局／札幌）の主催で、毎月『アイヌ史／概説』北海道島および同島周辺地域の古層文化の担い手たちとその後裔」をテーマとした講座が開かれ、その講師を引き受けた河野本道氏が参加者用に作成した講義ノットがベースになっています。

一月二十日に北海道出版企画センターより新書本として刊行され、その後版を重ね現在に至っています。

私達『アイヌ史（北方史）を学ぶ会』は、一足遅れの一九九六年夏から、この新書本をテキストに読書会を始めました。札幌から遠く離れた福岡に毎回来てもらうわけにはいかず、毎回の読書会で出された質問を手紙として送り、返事をしてもらおうという、いわば「通信・添削」のような形で「受講」したわけです。一度だけ、河野

氏を福岡に招き、ささやかな勉強会を開きました。また逆に私達が札幌や旭川に向いて、河野氏の案内でアイヌの

立場で活動している様々な方に話を聞いたこともあります。

そもそも私達は、北海道大学時代に「人類学闘争」という、大学教育・研究のあり方を

告発する運動を、共に進めた仲間であり、そういう意味で、私達も文化人類学者・河野講師の「教え子」でもあり、また社会運動家・河野氏の「同志」でもあります。当時は、学校でのアイヌ生徒へのいじめの事例、高校卒業を控えたアイヌに対する就職差別の事例、職場でのアイヌ労働者への差別的な対応の事例等について、いろいろ聞いていましたので、アイヌに対する差別や偏見の一扫と、労働者の搾取や抑圧からの解放の課題は、深く関連していると考えられるようになりました。

あれから十数年経った今年の一月、河野氏が病気で入院したと聞き、さっそく二月にお見舞いに行きました。残念ながら野氏の案内でアイヌの

三月四日、河野本道氏は七五歳で亡くなりました。このことをきっかけに、札幌での河野さんの教え子の方々にもお会いし、『アイヌ史／概説』を読み直すうちに、改めてこの本の歴史的

（6ページ中段から続く）

安倍首相の、手際よい「未来志向」「希望の同盟」という言葉で、米国会もオバマもクリアーされました。米国のマスコミは批判的ですが、

安倍首相は「歴史修正主義」への風当たりが欧米で強まることを懸念し、適当にトーンダウンして「実」軍事同盟強化」を取るつもりなのでしょう。

しかし、注視すべきこの問題は、そもそも安倍個人の言葉や「歴史認識」の問題ではありません。仮に口先で「侵略に対して謝罪する」と語ったとしても、日米軍事同盟のステップアップが、日米支配層の共同の利益として追求されてゆくか、もしれないのです。そのことをも見据えなければなりません。

■安倍専制政治は許せない

米国会演説で安倍首相は「日米同盟はより一層堅固になる。この夏までに必ず実現する」と述べ、安保法制の成立を断言しました。

去年の七月に「集団的自衛権」の閣議決定、TPPの秘密交渉。そして今回の防衛ガイドライン改定と、米議会での「戦争立法宣言」などなど。重大な課題が、極少メンバーや外国での「公約」という形でつぎつぎと決まってゆくのです。

日本の議会の無視以外の何物でもありません。いくら自公政権が、多数派であるとしても、「集団的自衛権」「戦争立法」に対して、過半数の国民が反対の意思を示しています。（各種世論調査による。）

習近平並みの専制政治が日本に登場したことに、警鐘を鳴らさなければなりません。安保法制は、ゴールデンウィーク明けにも閣議決定される予定です。その後に国会で成立させる予定です。闘いの山場です。（文）

中国、韓国政府による「安倍批判」は、日本の新たな軍国主義に警鐘を鳴らし、けん制する意味があっても、信ずることはできません。というのも、彼らの「歴史問題」「反日本」「アベ批判」は、国民統合

中国、韓国の誠意ある民衆との、共同の闘いとして「反独裁」「反官僚主義」「反格差」そして軍事主義が高まる東アジアで、平和を維持するためにこそ圧力を自国政府に突き付けてゆかなくてはなりません。

中国、韓国による「安倍批判」は、国民統合の本「アベ批判」は、国民統合

（8ページ上段に続く）

(7ページ中段から続く)

な意義に想いを深くしていま

●アイヌ史の「時代区分」

この本は独特の「時代区分」を採用しており、「用語」がと

「現時期」に区分し、アイヌ社

述する方法論をとっています。

既存の時代区分との関係で

「古層期」のうち「開始期」及

び「第Ⅰ・第Ⅱ展開期」は縄文

時代には「第Ⅲ展開期」は北海

道では「縄文時代」本州では

弥生時代から古墳時代に、「終

と変遷します。

そして近現代の「近時期」は

明治政府による「屯田兵」や

「開拓農民」が進出し「旧土人

保護法」の体制に組み込まれ

また大正デモクラシーの影響

を受けアイヌの主体的な運動

が展開される時期に、「現時

期」は戦後の農地解放以降のア

イヌの多様な生き方が展開す

る時期に照応します。

本書と同様の時代区分は「北

海道立アイヌ総合センター」

(札幌市)の資料展示室にも採

用されていますので、ビジュア

における農業生産力の拡大に伴

う、社会構成体の発展を基礎と

した、国家や社会の発展史であ

るといつてよいでしょう。

具体的には農業共同体を基

盤とした古代専制国家、家父長

的大家族経営(荘園制)を基盤

とした中世の貴族・武士国家の

時代、単婚小家族経営(石高

制)を基盤とした近世封建社会

の時代。それに伴って、働く

人々の搾取形態も、貢納制から

奴隷制、農奴制へと、変わって

行くことされています。

また近現代であれば、産業革

る社会編成の工夫など、生産力

とは別の視点から社会の発展

を分析する必要があります。

また、北海道島やサハリ

島、千島列島、東北の奥羽地方

のように、弥生社会の水田稲作

農耕が及ばず、狩猟・採集・漁

労・雑穀農耕などの多面的な生

業形態を基本としつつ、近隣の

社会との間に豊かな交易関係

を結び、鉄器加工などの手工業

を営み、発展してきたアイヌ社

会についても、農業生産力史観

とは別の視点が要求されてき

ます。こうした社会の発展を説

列島、本州島奥羽地域で、それ

ぞれ独自の展開をしており、さ

らにオホーツク文化との関係

響などの要素もあり、ひとくく

りに「民族」ととらえると、各

地域集団の独自性を無視する

ことになりかねません。

そもそも本州・九州・四国に

住む人々が「日本民族」という

意識を持つのは、明治維新によ

り「国民国家」の樹立がきつ

けと言われます。

氷河期の後期旧石器時代に、

アジア大陸から北はサハリン

を通じて、南は琉球弧を通じ

るものが元からあつたかのよ

うなストーリーは、近代の「国

民国家」の支配階級が人民を支

配するための「国民統合概念」

だったのです。

また現代の社会は、国民国家

の垣根を越えて、移住労働者が

増えており、国籍を越えた結婚

も増えています。アイヌ社会も

また、「アイヌ」「和人」の垣

根を越えて結婚もするし、共に

同じ職場で働き、共に地域市民

社会を支える状況が生まれて

います。様々な文化を尊重し、

差別のない平和な市民社会を

鍊金術師＝日銀リフレ派の実態

鍊金術師＝日銀リフレ派の実態
するほかはないものです。

リフレ派の諸氏が、善意の「デイドリーマー」かどうかは知らないですが、かれらが現実の迷走が続いています。

「量的質的金融緩和」をすれば、インフレが発生し、二十年

来日本が陥ってきたデフレを克服できる。と売り込んで、おろかしい安倍政権に取り入ったのでした。金融大緩和で、インフレが発生し、景気は上昇し賃金も上昇する・メデタシタと。

それから二年余が過ぎましたが、彼らの主張はすべてが裏切られてきました。当ブログでも再三指摘してきたところで

私見では、リフレ派というのは「科学」どころか「学問」といったものですらない。単なる派閥である。まさに新興宗派にすぎないでしょう。

彼らは、幻想を売り歩いているにすぎないのです。彼らの「論理」自体は「風が吹けば桶屋がもつかる」のたぐいと表現

リフレ派の諸氏が、善意の「デイドリーマー」かどうかは知らないですが、かれらが現実の迷走が続いています。

「量的質的金融緩和」をすれば、インフレが発生し、二十年

来日本が陥ってきたデフレを克服できる。と売り込んで、おろかしい安倍政権に取り入ったのでした。金融大緩和で、インフレが発生し、景気は上昇し賃金も上昇する・メデタシタと。

それから二年余が過ぎましたが、彼らの主張はすべてが裏切られてきました。当ブログでも再三指摘してきたところで

私見では、リフレ派というのは「科学」どころか「学問」といったものですらない。単なる派閥である。まさに新興宗派にすぎないでしょう。

彼らは、幻想を売り歩いているにすぎないのです。彼らの「論理」自体は「風が吹けば桶屋がもつかる」のたぐいと表現

資料「東洋経済オンライン」五月二日掲載（二部略）

「日銀は政治に支配され、動けなくなった」

ストラテジストの森田長太郎氏に聞く

リフレ派の主張は実現せず

——そもそも、安倍政権のもとで日銀が採用したいいわゆるリフレ派の人たちの主張である「マネタリーベースを積み上げればインフレになる」という理論が間違っている？

すでにかつての翁・岩田論争（注）で決着している。マネタリーベースとインフレは関係ない。銀行が持っている国債と日銀の当座預金を交換する取引でしかないからだ。市中に出回っている広義のマネーとインフレとの関係ですら曖昧だ。

円安はマクロ的に見れば日本経済にはプラスであり、インフレの要因にはなる。だが円安自

体も金融緩和がきっかけではなく、欧州の債務危機がおさまったことで、2012年秋には100円に戻っていた。あとはアウンスメント効果だけだ。

（注）翁・岩田論争は、当時の翁邦雄・日本銀行調査統計局長画調査課長（現・京都大学教授）と岩田規久男・上智大学教授（現・日本銀行副総裁）によって1992年9月から『週刊東洋経済』誌上で展開されたマネタリーベースとマネーサプライの関係、その効果をめぐる論争。1993年3月まで続いた。

——なぜ、エコノミストの一部は金融緩和に過度な期待を寄せるのか。

もともと米国の経済学者は一種の既得権益グループをつくっている。フリードマンやケインズでもそう。自然科学であれば仮説がいずれは検証されるが、そもそも自然科学ではない経済学は、検証されない。言いつ放しになってしまうことが、経済学の最大の問題だ。そうした中で、経済学者という職業

業を守ろうとすれば、政策への反映を図っていかうということになる。政策の役に立ちますよ、といえは、鍊金術的になら。商売としての経済学だ。

なぜ多くの経済学者が財政政策でなく、金融政策を主張するかといえば、財政政策は選挙で選ばれた政治家の仕事だからだ。だから、金融政策にちりしがみついて、中央銀行に乗り込もうと考える。そういうグループが米国の経済学者のコミュニティを形成している。まさに政策を売り歩いかさま師達が流派を形成している。

——それに做って日本でも日銀批判が始められたわけですね。

日本では長らく金融政策も含めたマクロ経済政策を官僚が統括していたので、まったく入り込む余地がなかった。最近になって、妙な野心を持った人たちが日銀への攻撃を始めた。リフレ派と呼ばれる人たちの目を見事にやっつけた。『東洋経済オンラインより引用ここまで』

「日銀官僚の手から金融政策を取り上げる」という主張は「自分たちの商売にする」ということだ。だが、乗っ取ったからには結果に責任を持つべきだ。

鍊金術師＝日銀の馬脚は、もはや見え見えます。（竜）

1 虐待

小児救急医療の現場で働いていると、夜間に外傷で搬送されてくる子どもの中に、虐待を疑わせるケースがある。親は「子どもがソファから落ちたので様子をみたら意識が無くなった」と言うが、頭部のCTを撮ると、明らかに強い力で叩きつけられたためとしか思われない画像が出るという。

とにかく入院して治療をしながら、児童相談所に連絡をして、子どもを虐待から保護する方策を講じなければならぬ。

子どもの虐待の背景には貧困問題があるのは明らかだ。しかし親の「経済的貧困」から直ちに虐待につながるわけではない、いろいろな要因が複雑にからみあって、親のある種の「心



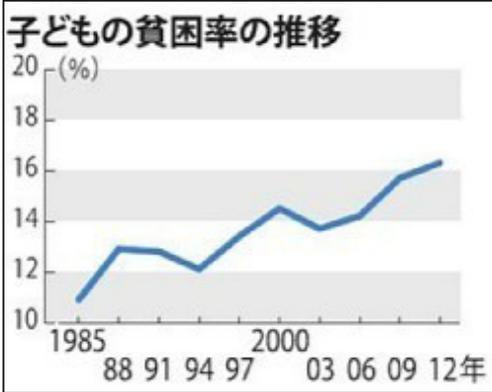
コラムの窓

の病」(精神的貧困)によって虐待は起きている。虐待行為に走ってしまった「親」自身が、実は子どもの時期にその親から虐待を受けて育っていたというケースも多い。「虐待の連鎖」が断ち切れないという問題だ。

虐待によって「心の傷」を抱えながら成長した親が、その傷を再び我が子に向けてしまう。知識だけの「道徳」教育や「人権」教育では、これは解決できない深刻な問題だ。心の傷を癒し、子どもへの自然な愛情を回復できるよう、周囲からの精神的サポートが必要なのだ。医療や教育の専門家

の力も大切だし、ふつうの家族や友人の精神的な力が必要だ

「子どもの貧困」から見えてくるもの



この神話が興味深いのは、スサノオをかばった姉のように、何とか共同体の中で、受け止めようとしている手前にはいるのではないかと。だが、結局も否、すでに一歩も二歩も踏まなかったことを、残念なエピソードとして語つ

(松本誠也)

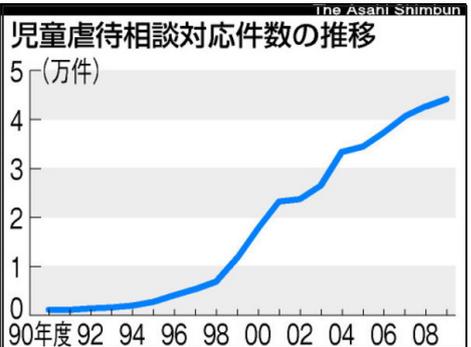
「心の傷」を抱えながら成長した親が、その傷を再び我が子に向けてしまう。知識だけの「道徳」教育や「人権」教育では、これは解決できない深刻な問題だ。心の傷を癒し、子どもへの自然な愛情を回復できるよう、周囲からの精神的サポートが必要なのだ。医療や教育の専門家の力も大切だし、ふつうの家族や友人の精神的な力が必要だ

「子どもの貧困」から見えてくるもの。これまで、規格化された学校の中では「問題児」として排除されることが多かった。ある小児科医は、戦国武将の伝記を読むと、今なら発達障がいとされてしまうタイプの人が、戦国時代には活躍していると言

2 発達障がい

もともと子どもは多様な性格をもっている。人とのコミュニケーションがうまくいかず、しばしば乱暴な振る舞いに走ってしまうが、ある分野では優れた能力を発揮する。対象を観察する能力が高く、絵画や写生がうまい。計算や記憶に秀でていて研究に抜群の力を発揮する。子どもたちが百人いたら、一人や二人馬を投げこんだり、乱暴はエスカレートするばかり。姉のママ

テラスは、いろいろと弟をかばうのだが、とうとう国から追放されてしま化の中で、発達障がいの子どもをサポートできるような社会のあり方をも問うている。しかも追放されたスサノオは、出雲の国でヤマトノオロチを退治し、村人を救った、悪い人ではない。現代社会のあり方をも問うている。しかも追放されたスサノオは、出雲の国でヤマトノオロチを退治し、村人を救った、悪い人ではない。現代社会のあり方をも問うている。



さらにピケティをはじめ通常の経済学では、生産性の向上が(人口の増加とともに)経済成長の大きな要因とされている。だが、そうではないことになる。個別的企业にとつては生産性の向上によって「付加価値の増大」がもたらされるにもかかわらず、社会的には「経済成長率g」は生産的労働時間の絶対的増大・労働強化に依存していると考えられる。

(10ページ下段から続く)

色鉛筆

今年の連休は講演会や集会に出かけ、充実した時間が過ごせました。その充実感を皆さんにもおすそ分けします。

4月25日、狭山事件で仮釈放中の石川一雄さんが尼崎市に連れられ、元気な挨拶で集会は始まりました。昨年神戸で、石川さんが出演するドキュメンタリー映画「SAYAMA みえない手錠をはずすまで」を観て、その一所懸命な姿に胸をうたれました。再審実現に向けて頑張る石川さんの、いつも横にいるのが妻の早智子さんでした。集会当日も早智子さんは、石川さんが仮釈放中であるので選挙権が無いことを残念に思い、早く無実を確定し安心して生活を送らせてあげたいと、会場で訴えられました。

全国で400回を超える映画上映で支援の輪は広がっています。第3次再審請求から9年近く経過した今、再審実現は重要な局面を迎えています。裁判所が事実調べを行うよ

反安倍で熱気の連休でした

私は、石川一雄さん御本人に出会うのは初めてで、52年間も冤罪を背負い続け生きてこられた人生を思うと、狭山事件を知りながら支援出来ていなかった自分を悔いました。真実を見ようとする司法の壁を許しているこの社会は、私たちにもその責任がある

う世論を盛り上げること、それには事件の真相を知ってもらうことです。私は、娘たちに狭山事件の石川さんのことを話すと、誰も知りませんでした。まずは、身近な人から説得をしたいものです。

4月29日、神戸で行われた元衆議院議員・服部良一さんの講演会に参加。報告では、5月の通常国会で集団的自衛権行使の関連法案が審議されますが、これまでの「周辺事態」という制約をとつばらい、地球の裏側まで派兵することになり、周辺有事の後方支援の対象に米軍以外も加えるという、どこにでも自衛隊が出かけることを許すことになってしまいう歴史的にも大変な時期を迎えていることが指摘されました。

5月3日、沖繩タイムズ元記者の屋良朝博さんの講演の憲法集会に参加。「憲法と沖繩」がテーマで、沖繩が現在でも差別の構造を利用した日米合作の植民地であることを強調されました。現在は、沖繩国際大学の非常勤講師を勤められ週1回は大学に足を運ばれるようですが、日常的に基地で犠牲になっている沖繩の大学生でも、少数ですが基地反対の意思表示があいまいな学生が居ることに、複雑な心境を語られました。

また、切れ目のない(シームレス)支援を行うための24時間戦闘モードに入る体制・いつでも鉄砲を撃てる体制になる可能性があること。つまり、警備行動命令・治安出動命令の迅速化を促す体制が作られ、「非戦闘地域」の定義をこれまでの「活動期間を通じて」を削除し、「現に戦闘行為を行って

今後、6月の衆議院通過が山場となるので、東京では連続の国会包囲行動が予定されおり、関西でも6月7日と21日にそれぞれ大阪弁護士会・兵庫県弁護士会主催で集会とデモが予定されているので、より多くの結集をと呼び掛けがありました。

5月4日、伊丹市で「憲法を変えるな！」の集会で2つの講演を聞きました。その内の印象

に残った1つの、作家で明治学院大学の高橋源一郎さんを紹介します。異色の経歴を明らかにし、自分には長男が3人いることから話が始まりました。そして64歳の今、10歳の長男と年子の二男を子育てしているという、主夫であり作家、大下とおるの分析は、自己主張は強いが他人の意見を聞かない、立場が悪くなると相手を無視しその場から逃げる、生産的な議論が出来ない、というものでした。

高橋さんが人を分析すると、必ず相手の書いてきた文章を徹底的に読み、まずはその文章の意図を見抜き、相手を好きになることからは始めるといふ手法は、運動に對する考え方にも通じています。

この集会の参加者は憲法反対で意志一致して

こんな感じで連休は講演会に足を運び、安倍政権の横暴に付き合わされる忙しい日々となりました。(恵)



5月3日に開催された憲法講演会(記事とは別)